

# 五條の歴史を 探る 第151回

## 五條市内の中世城館跡 (その2)

### 【居伝城と居伝遺跡】

京奈和自動車道五條北インターチェンジ西側の、東谷山から南の居伝町の集落に伸びる3本の尾根上に居伝城、その東の麓に2つの居館(居伝遺跡)があります。

居伝城は、標高206〜235mの丘陵端部に郭と腰曲輪・帯曲輪を設け、郭の北側を堀切で遮断しています。室町時代と推定され、城主を近内氏とする文献もありますが、確かな史料は知られていません。

居伝遺跡は、京奈和自動車道の建設に伴う調査で見られました。北区(山口地区)と南館(キヨラセ地区)が並び、大溝を巡らせた内部には複数の掘立柱建物と土坑、柵、井戸などが設けられていました。13世紀後半から15世紀前半まで機能していたとみられます。

【坂合部城】  
和歌山との県境が見える、吉野川南岸の標高約129mの段丘面(表野町)に平城、その南東1kmの尾根(阪合部新田町)に山城が築かれました。平城付近は平坦な水田が広がり、明瞭な城館の区画は見えませんが、「城ノ越」「堀田」などの小字名が残り中世の土器片も採集できます。

山城は標高約200mの山頂にあり、ゴルフ場に隣接しますが、東西30m、南北33mの主郭と堀切、腰曲輪などがよく残っています。

城主とされる坂合部氏は『太平記』に登場する酒邊氏と同一とみられ、南朝に属した在地の武士です。戦国時代には隣国・紀州伊都郡の隅田党を頼って高野山勢の坂合部進出に對抗したとされており、坂合部城は両者の攻防の最前線だったようです。(終わり)

文化財課学芸員 前坂 尚志  
文化財課 ☎ 24・2011

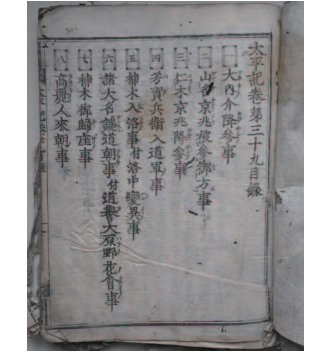
〈参考文献〉  
中井均監修・城郭談話会編『図解近畿の城郭』Ⅲ・Ⅳ、戎光祥出版、2016年・2017年

## 九拾四の百の肉案図文見取りから 五條に見る文学・文芸作品⑤ 中世の軍記物語『太平記』③

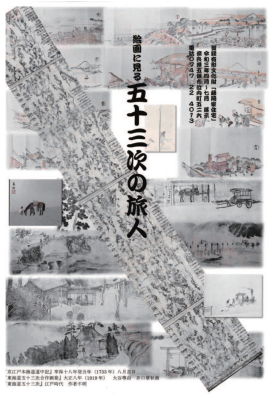
大塔宮とその8人の供は、大塔の殿野に住んだ武士戸野兵衛の家で十日余りを過ごした後、竹原八郎のもとで半年を過ごし、還俗して名を護良としました。しかし、熊野別当が関東の將軍の命令を受け、護良親王とその家来を討つ者に賞金を出すと書いた立て札を辻に立てたため、親王は高野山に向かうのですが、追手が立ちふさがり、吉野に入ることにあります。ここに、五條の豪族、牧野氏が登場します。宮は、これより槇野上野房聖賢が拵へたる槇城へ御入りりけるが、こどもお分内狭くて悪しかるべしとして、吉野の大衆(僧たち)を御語らひあつて、安全宝塔(安禪寺藏王堂の宝塔)を城郭に構へ、岩切り通す吉野川を前に当てて、三千余騎にて楯籠もらせ給ひたりとぞ聞こえける。『太平記』(巻5)

槇(牧)野城は、千早峠の東南。現在の野上野町にありました。牧野氏が活躍する場面は、ほかにもあり、五條の武士たちは「内郡の武士」と表現され、阪合部(酒辺)、陶器、野原、宇野など、中世の五條の豪族たちが、楠木正成の援軍として活躍しました。特に西吉野は物語の中心的舞台の一つで、後醍醐天皇が吉野に入る場面(巻18)、後村上帝ら南朝の人々が黒木御所に住まう場面(巻27)、「賀名生殿」と呼ばれる御所に公卿たちが続々と向かう場面(巻30)などが詳しく語られています。(つづく)

館長 川村 優理



「太平記」万治3年(1660年)版(藤岡家所蔵)



【展示案内】  
「絵画に見る五十三次の旅人」  
「武者絵」展  
6月20日(日)まで

# 6月 図書館だより

市立図書館 (水曜休館)  
☎ 22-4133

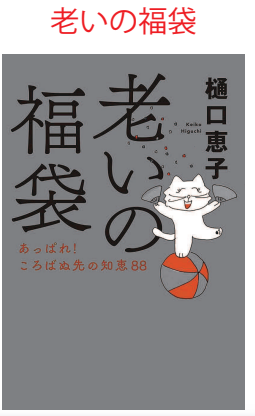


図書館ブログ



五條市立図書館  
マスコットキャラ「すーくん」

## 新刊本棚 おとなの本



樋口恵子／著  
中央公論新社

老年よ、大志とサイフを抱け! 「調理定年」してもいい! 介護され上手になろう! 老いの時期を楽しく快適にするアイデアや、ちよっぴり怖い現実、超高齢社会の課題を乗り越える知恵などを綴った書き下ろし痛快エッセイ。



西條奈加／著  
角川春樹事務所

## ともだちいっしゅうかん



内田麟太郎／作  
偕成社

月曜日にクマさんがきて、もしもじと小声で言った。「おれだって、おしゃべりできる?」「できますよ。ぼくにおかまかせ」...リズムにのりキツネとともにだちの愉快な1週間を歌う。

## ようこそみんなの世界へ



モイラ・バターフィールド／文  
化学同人

# 天誅組古文書教室(全5回)

時 ①7月10日 ②8月21日 ③9月11日 ④10月9日 ⑤11月13日  
各回13時30分~15時(すべて土曜日)

所 市立民俗資料館研修室(駐車場有)  
定 各回先着15人 師 市立文化博物館学芸員  
¥ ▼一般:各回500円 ▼NPO法人維新の魁・天誅組 会員:各回300円  
方 ①氏名②住所③連絡先を電話、FAXまたはメールで伝え、申し込んでください。  
他 参加する際は、新型コロナウイルス感染症の感染予防をお願いします。  
申 問 市立民俗資料館(月曜休) ☎ FAX 22-0450 ✉ info@tenchugumi.jp

